

わかたけ

春日部市立武里小学校

児童数423名(5/1)
平成30年5月1日発行

陸上大会の意義について考える

校長 小熊 三千世

武里小学校の朝は、子供たちの爽やかなあいさつでスタートします。決して大きな声ではありませんが、自然な声で、相手と視線を合わせ、笑顔であいさつのできる児童が多く、ご家庭の支援の賜と感じています。

4月当初から一月ほどは、通学班長はそのまま一年生の教室へと向かうのが武里小の伝統です。下駄箱や座席の位置、学習用具の片付け等を丁寧に教えている班長の様子を見てみると、本当に温かい気持ちになります。後を振り返りながら通学してきたり、一年生の荷物を持って登校してきたり…、と様々な姿を見せてくれる班長には、思わずこちらも笑顔になります。

4月18日(水)は、初めて朝から雨が降りました。まだ傘をくるくるとは上手にたためない一年生に、班長はたたみ方を丁寧に教えていました。

さて、4月から始まった陸上大会練習も、先週からは種目別練習が開始されその内容も少し本格化しています。学校ではより高い水準の技能や記録に挑戦する中で子供たちの力を最大限に発揮させたいと考えていますが、その意義を以下のように共通理解しています。



- 1 教育活動の一環であり、児童の自主性と個性と伸ばす活動である。
- 2 体力、忍耐力、協調心を養う活動である。
- 3 自己の個性や能力を発見し、伸ばす活動である。
- 4 児童相互が切磋琢磨し合う活動である。
- 5 自主的、自発的に行動する態度や習慣を形成し、責任感を養う活動である。
- 6 学校や集団の決まりを守り、所属感や連帯感を身に付ける活動である。
- 7 心身の鍛錬を図ると共に、技術の向上を目指す活動である。
- 8 余暇の善利用を図り、生活に潤いを与える活動である。

以上のように、陸上大会は身体的にも精神的にも強い意志のある人間を育成すると共に、規則を守り、礼儀正しい人間を育成する場と考えています。更には、技能を高めるばかりでなく、互いに協力し助け合う社会的にも豊かな人間を育てていく場とも捉えています。

しかしながら、大会当日まで約一月半に渡る長期の練習期間でもあります。お子さんの体力や体調等とも相談しながら指導を進めたいと考えますので、ご不安なことがありましたらいつでもご相談いただければと考えます。

今月も、保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

平成30年度入学式



4月10日(火)に入学式を行い、66名のかわいい1年生が入学しました。当日は天気にも恵まれ、素晴らしい式となりました。初日は、緊張している子どもも多いようでしたが、この1か月で新しい友だちもでき、子どもたちは元気に活動をしています。明治時代から続く武里小の伝統を担う、立派なわかたっけ子に成長してくれることと思います。

授業参観・懇談会



4月20日(金)、24日(火)に、今年度最初の授業参観・懇談会を行い、多くの保護者の皆様にご出席をいただきました。今後も本校の教育活動を積極的に公開・発信してまいりますので、保護者の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

1年生を迎える会



4月19日(木)に、1年生を迎える会がありました。在校生による歓迎の言葉や1年生のお礼の演技などが、披露されました。

ホームページ・ブログでも情報発信をしています

本校の教育活動の様子は、ホームページでもご覧いただけます。ホームページのURLは、毎号の学校便り左側最上段に掲載していますが、下記の「学校ホームページのQRコード」をスマートフォン等で読み取って頂いてもアクセスできます。

同様に、日々の教育活動をアップしているブログについても、本校ホームページから進んでいただくか、下記の「ブログのQRコード」を読み取って頂ければ直接アクセスできます。



こちらは武里小学校ホームページにアクセスできるQRコードです。



こちらは武里小学校ブログにアクセスできるQRコードです。

